

平成31年4月における会員の財務状況等

1. 会員数の状況

会員数は4月中に1社脱退したため26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ78,821口座で前月比0.4%増となった一方、建玉委託者数は12,170口座で前月比4.1%減となった。また、役職員数は新卒採用等により4,059人で前月から137人増加した。

3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は534,943枚で、前月末から19,201枚減少し、預り証拠金も1,174億5百万円となり、前月比で50億55百万円減少した。なお、委託者に占める建玉委託者は、15.4%となり、前月比0.8ポイント減少した。

4. 純資産額の状況

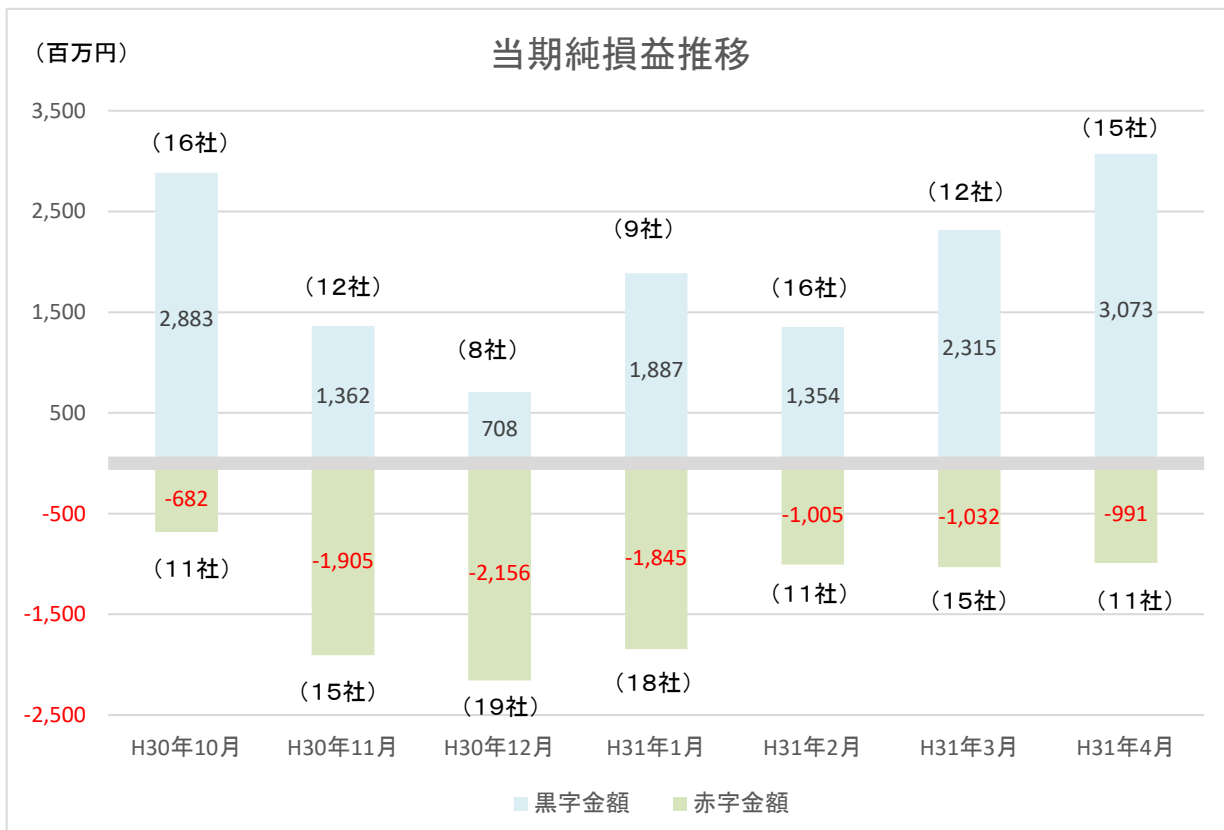
会員の純資産額は総額3,300億27百万円となり、前月比0.2%の増加となった。

5. 損益状況

今月の当期純損益について、黒字の会社が15社、赤字の会社が11社となり、全体では20億82百万円の黒字となった。委託取引高の減少に伴い商品先物取引に係る受取委託手数料は減少したが、その他の受取手数料及びその他のトレーディング損益の計上が大きく、その部分が黒字に貢献した。

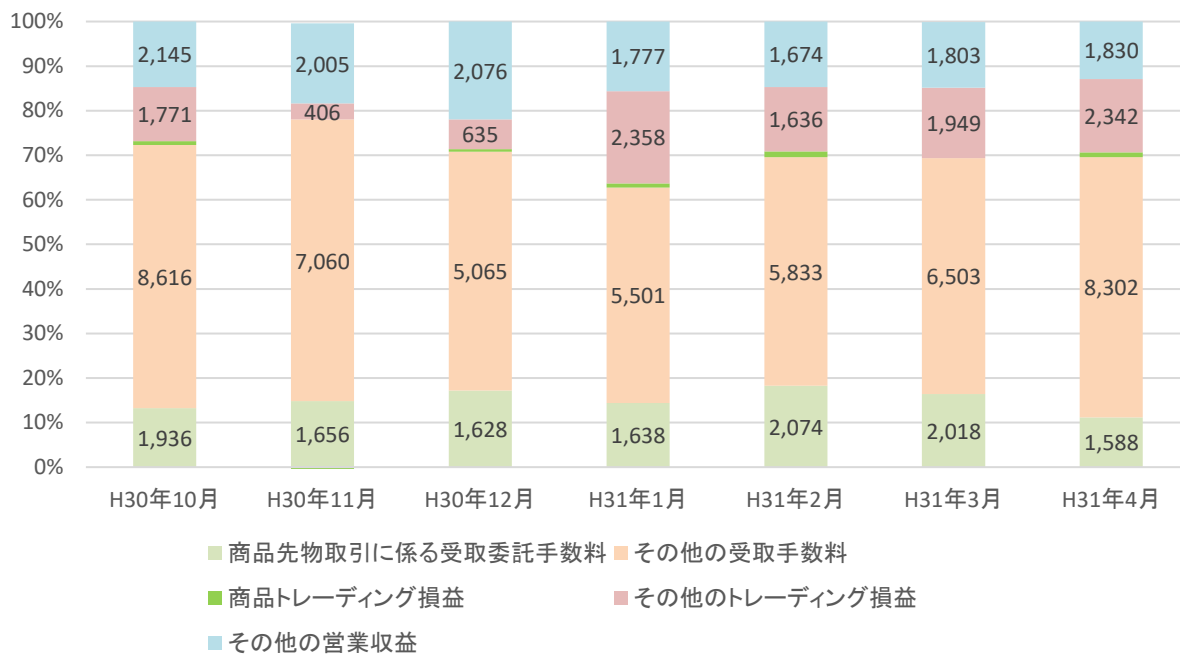
6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比14.0%減の約255万枚となった。その要因は、白金標準取引(前月比15.5%増の約65万枚)が増加したものの、金標準取引(前月比27.6%減の約93万枚)、東京ゴールドスポット100(前月比30.4%減の約17万枚)及びRSS3号(前月比18.1%減の約16万枚)の減少が大きかったためである。なお、新潟コシは、約4万8千枚を記録し上場来出来高を更新した。



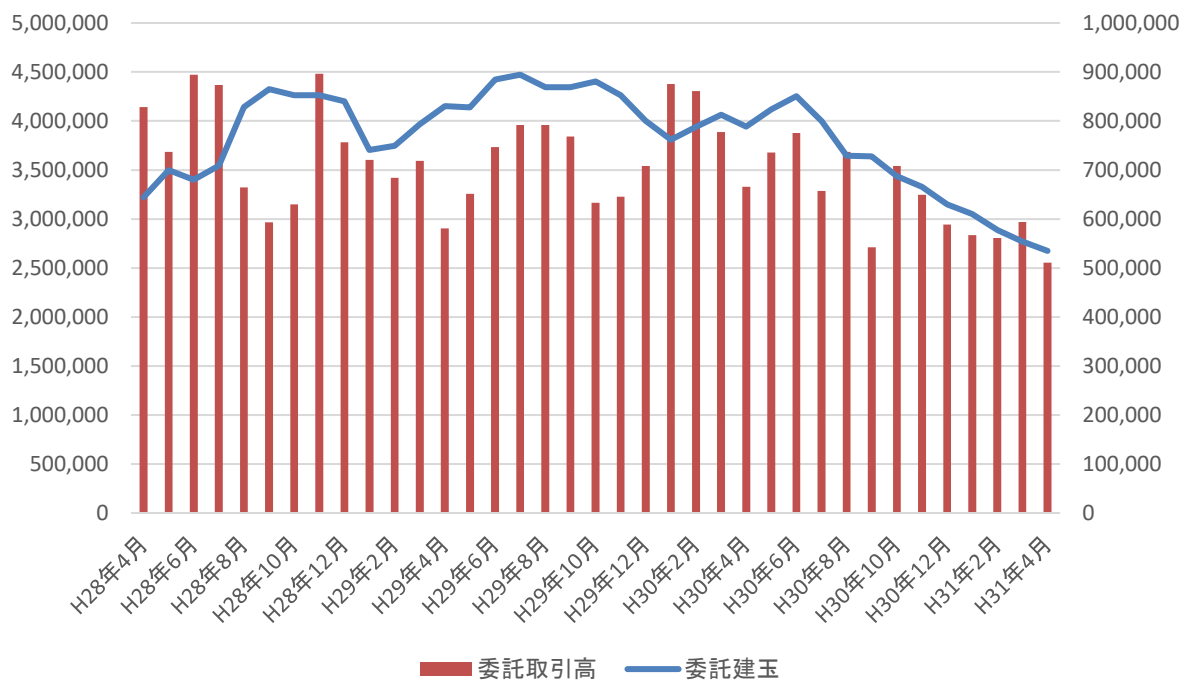
営業収益内訳割合

(単位: 百万円)



委託取引高及び委託建玉推移

(単位: 枚)



以上